

3-3 道路・交通網整備の基本方針

本市を取り巻く高速交通網の整備は、全国でも高いレベルで進んでいます。高崎駅や関越自動車道インターチェンジを中心に、広域交通ネットワークを形成し、周辺都市との連携強化を図ります。インターチェンジやアクセス道路の整備により、利便性の高い広域交通結節点の形成を推進します。

(1) 交通ネットワークの形成

- ・本市の道路網の骨格を構成する環状道路や放射道路については、渋滞の解消を目指し、未整備区間の整備を重点的に進めます。また、中心市街地では通過車両を環状線等に迂回させ、道路を人中心の空間として再構築します。
- ・長期間未整備の都市計画道路は見直しを進め、拠点間のアクセス性を高める道路や産業及び観光業の発展につながる道路、防災性の向上に寄与する道路の整備を優先的に進めます。

(2) 道路の位置づけ

1) 主要幹線道路

本市の骨格を形成する道路で、都心拠点、副都心拠点、地域拠点の各拠点同士を連絡する放射状道路や、高崎駅周辺への過度な自動車流入を抑制するための環状道路などを主要幹線道路と位置づけます。

2) 幹線道路

主要幹線道路を補完し、都心拠点、副都心拠点、地域拠点の骨格を形成する道路を幹線道路と位置づけます。

3) 地域幹線道路

幹線道路を補完し、地域内交通の円滑化を促進する道路を地域幹線道路と位置づけます。

4) 日常生活道路

市民の日常生活に密着した道路で、主として歩行者や自転車の通行を対象とした安全で快適な歩行空間を提供する道路を日常生活道路と位置づけます。

(3) 公共交通体系の形成

- ・ 鉄道、民間のバス路線、市内循環バス「ぐるりん」をはじめとするコミュニティバス路線など、多様な移動手段を活用し、公共交通網の維持確保に努めます。
- ・ バス交通については、地域の特性や利用者のニーズを的確に捉え、利便性の向上と効率化を図りながら維持確保に努めます。
- ・ バス交通の定時性・速達性を確保するため、主要幹線道路及び幹線道路の整備や、ボトルネック交差点におけるバス走行空間の確保などを検討します。
- ・ JR 高崎線、JR 上越・両毛線、JR 信越本線、上信電鉄上信線を公共交通の軸とし、各駅の機能を強化するため、バス交通との連携強化やパークアンドライド駐車場の整備により、利用しやすく、人と環境にやさしい公共交通網の形成を目指します。
- ・ 新駅の設置や既存駅のバリアフリー化、駐車場・駐輪場等の駅周辺施設の機能充実を図ります。

■ 交通網体系図

